

特別優秀賞

よろこびのマスク

福井県 神山小学校 一年
山腰 萌依

わたしがようちえんのときのことです。わたしはおかあさんと、おみせにいきました。かおうとおもっていたトイレトペーパーがひとつもなくて、からっぽのたなをみて、びっくりしました。

「コロナウイルスがきたで、みんながあわててかっていったんやわ。」

と、おかあさんはいいました。そして、マスクをしないと、そとに出られなくなってしまいました。

すぐに、マスクもかえなくなりました。おかあさんが、いえじゅうのタンスからハンカチと、あかちゃんのとにつかたガーゼをあつめてきて、マスクをつくってくれました。てぬいで、かぞく六人ぶんをつくります。わたしは、おかあさんがはり糸でチクチクぬっているのを見たことがなかったので、(そんなのつくれるの?)とおもいました。

「やってみると、たのしいもんやわ。」

と、おかあさんは一人になんまいもマスクをつくってくれました。よるおそくまでつくっていたから、おかあさんはとてもねむそうでした。おかあさんにすこしでもよろこんでほしいとおもって、ひらめいたのが、しょうじょうをつくることでした。

わたしは、いっしょうけんめいかきました。

『あなたはマスクをいっぱいつくりましたね じょうずにつくりました さいごまでがんばりましたね おめでとうございます 4月14日 やまこしまさよどの』

おかあさんは、とてもよろこんでくれました。あまりにうれしくて、しょうじょうのしゃしんをとって、SNS にあげていました。それを見たおばさんが、メールをくれました。

『めいちゃんやさしさにかんどうしたので、マスクをつくっておくれます』

わたしはうれしいような、はずかしいようなきもちになりました。

しばらくして、大きなにもつがとどきました。おばさんからです。おにいちゃんたちとドキドキしながら、はこをあけてみました。中には、ピンクやあかいろのかわいいマスクと、たくさんのおかしと、おばさんからのてがみが入っていました。あまりにたくさんおかしが入っていたので、みんなびっくりして、おもわずわらってしまいました。

コロナになってから、ようちえんがやすみで、ともだちとあそぶこともできないし、どこにも出かけられなくて、さみしかったけれど、ひさしぶりにたのしいきもちになりました。ようちえんがはじまって、そのマスクをつけていくのがたのしみでした。

あれから、一年がたちました。いまも、マスクがないとそとにでられません。おばさんにはあえていないけれど、メールで「ありがとう」がいえました。ことしのなつやすみは、おばさんからわけてもらったメダカのおせわをして、たくさんたまごからあかちゃんがかえりました。いえの中にも、うれしいことはいっぱいあります。